

総合都市交通体系マスタープラン (SMARTプラン) について

2024.03.04

さいたま市 都市局都市計画部 交通政策課

| 改定にあたってのポイント

— Point 01 人中心の持続可能なモビリティ計画へ

— Point 02 未来像（ビジョン）の共有

— Point 03 将来の各交通モードの役割の明確化

— Point 04 公共交通等のサービス水準

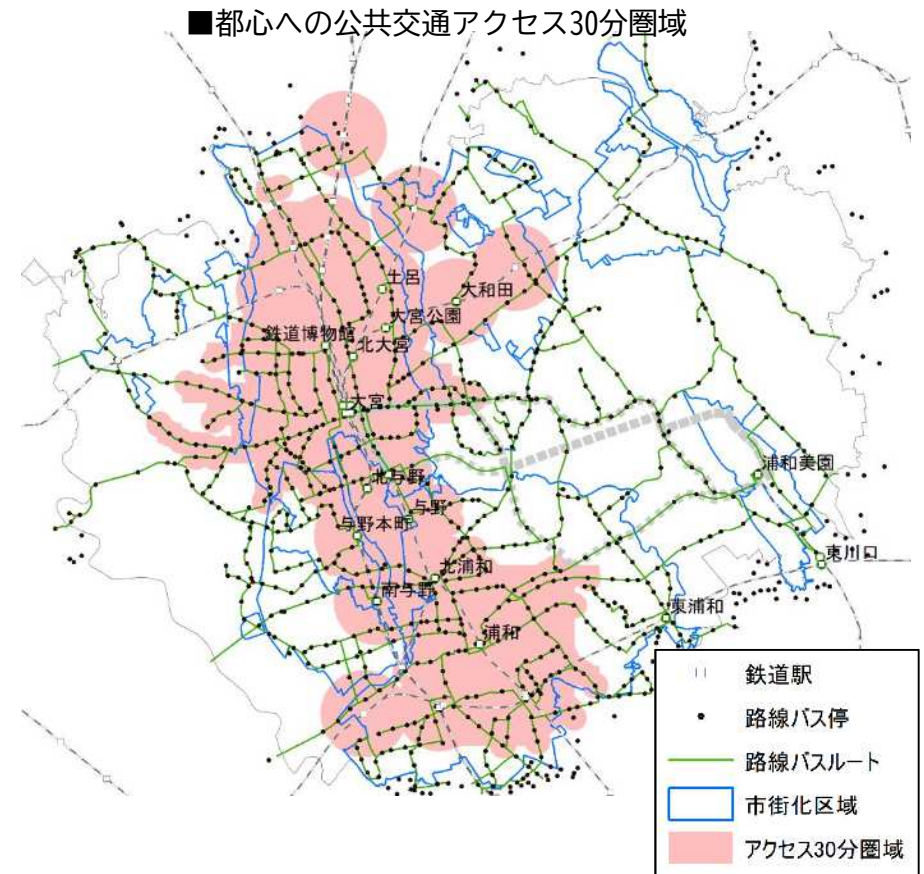
— Point 05 計画体系の再構築

Point 01 人中心の持続可能なモビリティ計画へ

- 価値観の多様化や科学技術の進展による多様なライフスタイルを支えるため、改定するSMARTプランでは、人中心の持続可能なモビリティ計画へと再編していくことを目指す
 - そのためには、30年後の未来像を見据えたバックカスティングによる検討が重要
 - あらゆる人が、交通手段の選択肢があるマルチモーダルな交通体系の構築や人中心の空間整備を進めていくことで、魅力的で安心して楽しめる都市を構築し、人々の移動を活性化していくことを目指す
- ▼
- これまでのSMARTプランで分析してきた内容だけではなく、市民のアクセシビリティや生活・時間の使い方に着目した分析を進めている

■持続可能な都市モビリティ計画（SUMP）の特徴

- 人に 焦点をあてたモビリティ計画
 - ・アクセシビリティとQoL（クオリティ・オブ・ライフ）を重視。インフラなどハード面とプライシングや規制などソフト面の両方を計画
- バックカスティング型の交通計画
 - ・ビジョン、目的について最初に合意形成し、そのための目標値、施策パッケージを策定

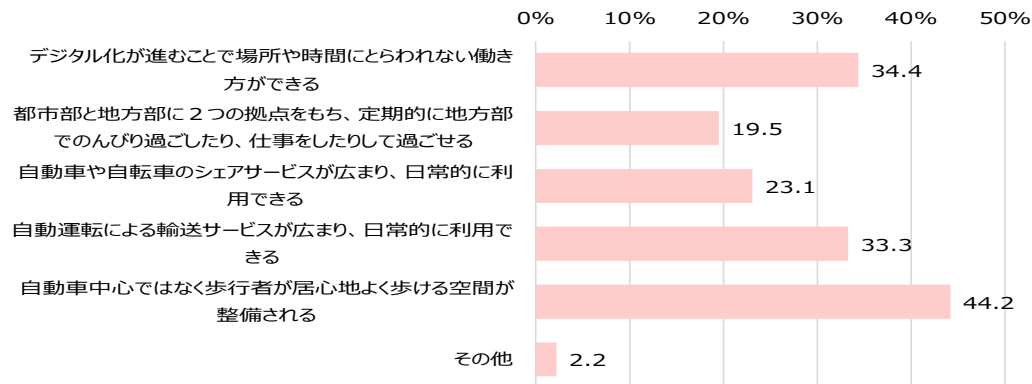


改定にあたってのポイント

Point 02 未来像（ビジョン）の共有

- 今年度は、アンケートやワークショップを通じて、市民の移動に対する課題や将来の都市や移動がどうなってほしいかなどを伺ってきた
- 現在、市民意見をもとに未来像のイメージを作成中
- 令和6年度は、作成した未来像（案）をもとに、さらに市民の皆様のご意見を伺っていく予定

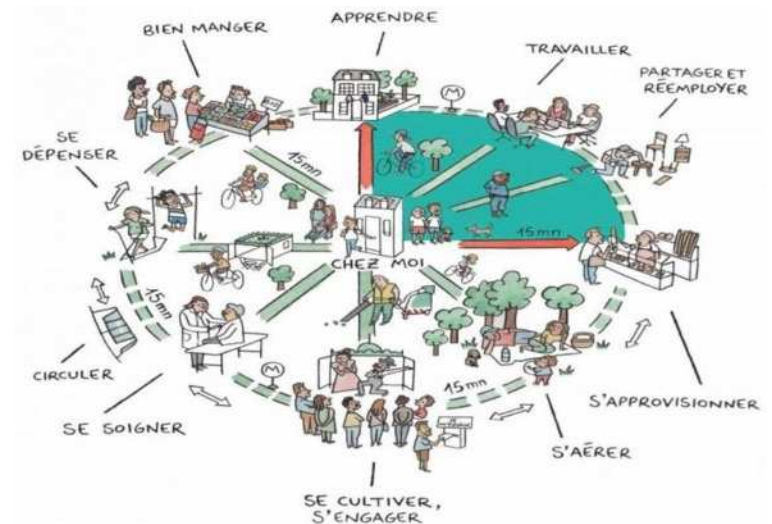
■都市や移動が将来どうなってほしいか（R5年度インターネットアンケート調査）



■今年度実施した市民意見聴取の内容

内容	対象
オープンハウス	・ サイクルフェスタ、地域イベント
アンケート	・ コミュニティバス等の地域組織への出張アンケート ・ インターネットアンケート調査 ・ 市職員アンケート
ワークショップ	・ 都市の未来像を考える市民ワークショップ（2/24, 3/3開催）

■未来像のイメージ（出典：パリ市）



■オープンハウスの様子（サイクルフェスタ）



■地域組織へ出張アンケートの様子



Point 03 将来の各交通モードの役割の明確化

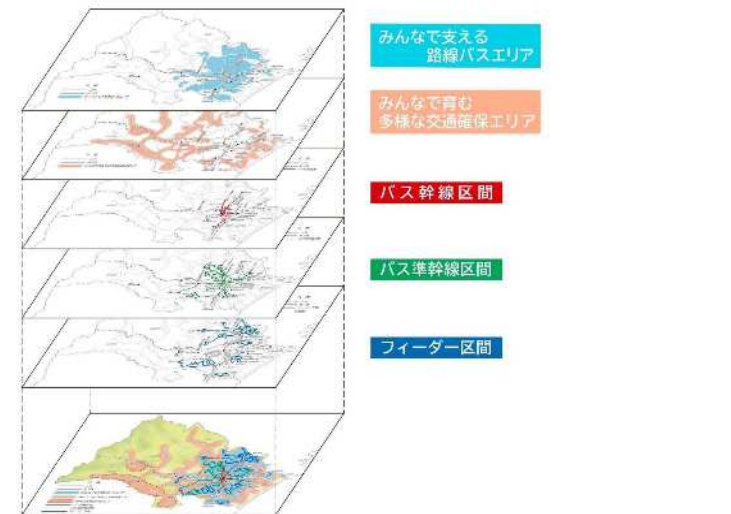
- 今後の10年間では、運転手不足の深刻化により、現在の路線バスネットワークを維持することはますます困難となることが想定される
- 各交通手段の役割を踏まえ、効率的な交通ネットワークへと再構築していくことが重要



- 将来の都市構造等を踏まえ、各交通モードの位置づけを明確にする
- バス路線については、幹線路線と準幹線路線等の位置づけを整理し、持続可能なバス路線ネットワークを検討する
- AIデマンド交通については、これまでの実証実験を検証・分析し、本市としての位置付けを整理する
- デマンド交通と連携したバス路線ネットワークの再構築や多様な交通手段をシームレスに繋げるためのモビリティハブのような交通結節機能の強化策を検討
- その他、自転車やシェアモビリティ、新たな交通サービス等の役割についても検討を進める



出典：第3期金沢交通戦略（金沢市）



出典：公共交通ネットワーク層別イメージ（仙台市地域公共計画）

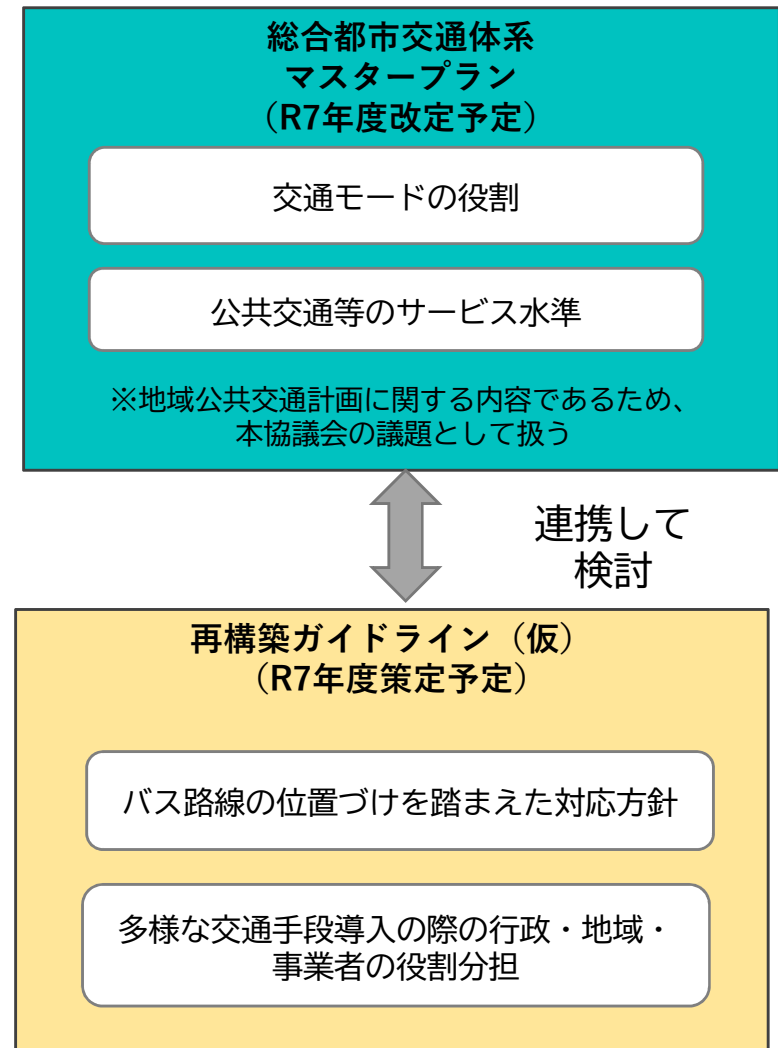
改定にあたってのポイント

Point 04 公共交通等のサービス水準

- 持続可能なバス路線ネットワークのためには、地域に応じた適切なサービス水準(運行頻度等)の確保と多様な交通手段の連携が求められる
- SMARTプランでは、バス路線の位置づけに応じて、最低限求められる水準及び理想的な水準等の設定について地域ごとの特性を踏まえて検討する
- 再構築ガイドライン(仮)では、それらを踏まえ、乗合タクシーやAIデマンド、シェアモビリティ等の多様な交通手段の導入にあたっての役割分担や導入の方針等を検討
- また、地域での支え合い交通や既にある生活支援策の見直しなど、交通と福祉が連携し、地域に合わせた方法を選べる仕組みの構築を目指す



SMARTプランと再構築ガイドラインの
役割分担のイメージ



改定にあたってのポイント

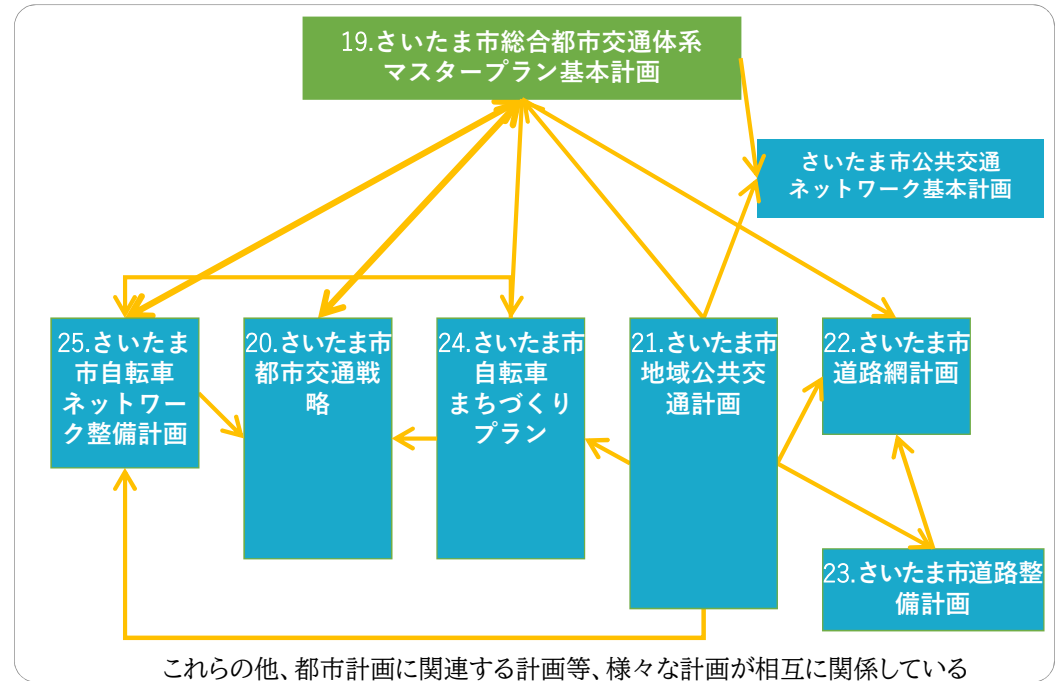
Point 05 計画体系の再構築

- さいたま市の交通に関連する計画は時勢や法制
定等に合わせて増加している
- それぞれの計画間の相互関係が複雑化しており、
何を参照すべきか分かりづらい
- 計画ごとの進捗管理や改定手続きなど事務負担
も増加している



- 計画の統合、分野ごとの計画の体系化を進める
ことで、市民・事業者・行政が分かりやすく、目的
やビジョンを共有しやすい計画へと再編していく
- 地域公共交通計画、都市交通戦略及び公共交
通ネットワーク基本計画については、SMARTプ
ランへの統合していく方向性で検討

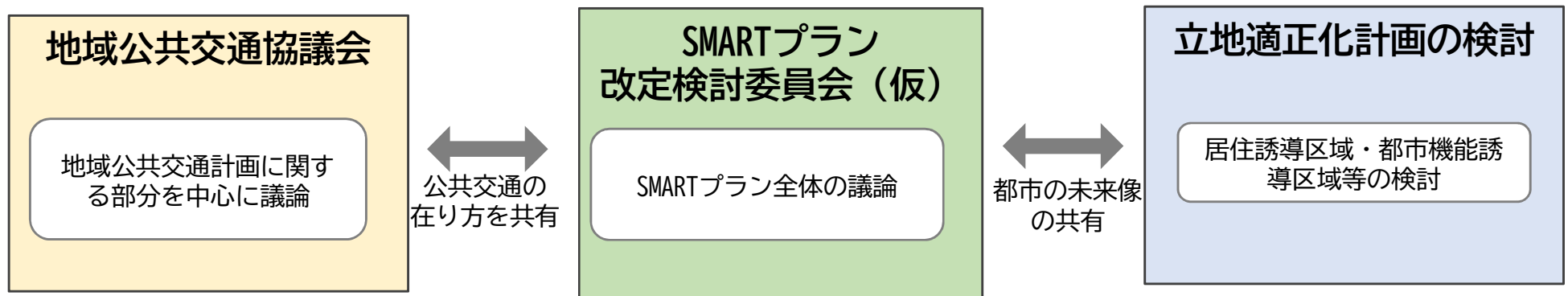
さいたま市の交通関連計画体系図



これらの計画では、記載内容にも重複が見られ、それぞれの計画ごとでPDCAや進捗管理を行っている状況

検討体制のイメージ

- 地域公共交通計画は、SMARTプランへの統合に合わせた改定となることから、次年度からは、交通モードの役割やサービス水準等について地域公共交通協議会でも議論していく
- また、現在検討が進められている立地適正化計画の検討と連携し、本市の交通ネットワークの在り方を検討していく



検討スケジュール案

